

■ 石上露子を語る集い ホームページ閉鎖のお知らせ ■

5 月 14 日（日）第 19 回定期総会をもちまして解散いたしました。

トップ>機関紙「小板橋」191 号>宮本正章代表>萬谷順一顧問>久保満夫

十九回 定例総会結果報告

顧問 萬谷 順一

新緑も爽やかな五月晴れの五月十四日、「石上露子を語る集い」第十九回定期総会が富田林市立中央公民館で開催されました。午後一時三十分すぎ、会員が出揃い司会の私が開会を告げ、まず宮本代表の挨拶がありました。

宮本代表から「今日を最後に代表を辞任し会員を辞めることになった」との前置きの言葉があり有意義なご挨拶がありました。

次いで総会の議長に久保氏を選出し、久保氏は、本日の会員総会総数十七名、出席十五名、欠席二名いずれも委任状の提出があり、総会は成立する旨をのべ議事に入られ、平成二十八年度活動報告、一般会計決算及び特別会計決算と会計監査報告の審議を無事に済ませ次の議案、会の今後について、を上程された。これについては先月の例会で宮本代表から、「私も高齢となり体調も良くないので会長を辞めたいが後任もきまらないので解散したい考えを表明され、来月皆様のご意見をきいた上でどうする決定したい」と述べておられることに従い、議長から「石上露子を語る集い」の存続か、解散かについて皆様のお考えを聞かせてくださいと提案があり、順番に、それぞれの考えを述べました。充分発言の時間をとったあと、会の存続か、解散かの採決を行った結果、解散する人が過半数を占め、会は解散と決定した。

おもえば、芝代表八年、宮本代表十年の十八年間続いた会であったが、有終の美をのこして本日幕を閉じることになった。この四月号をもって百九十号となった機関紙「小板橋」を手にして、その内容の豊かさに驚きを感じるとともに、併せてここまで至った多くの人々の協力と石上露子顕彰への努力の結晶に敬意を表したいと思っています。

幕を閉じる会として、後に残った故松本和男先生からの寄贈本と積立金を処理するための清算委員会を設けることと、旧役員がこれに当たることを決定しました。未完成となった仮称石上露子文学記念館については、今後を市へお願いする外方法がないのでそのような考えをもって清算することとなりました。

今日までの長い間、なみなみならぬご協力を賜りました関係皆様方へ心から厚く御礼申し上げますとともに深く感謝申し上げます。誠に有難うございました。

機関紙「小板橋」もこの一九一号をもって終わらせていただきます。永らくのご愛読有難うございました。

5 月 25 日 富田林市生涯学習部・富田林市文化財・男女共同参画へ

6 月 8 日 中央公民館・中央図書館へ お礼とご挨拶に行ってきました。